

やつしろ子ども支援相談室便り

10月号

やつしろ子ども支援相談室

(八代市教育サポートセンター内)

ハート

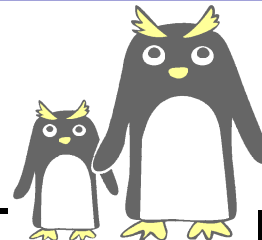
☆子供さんのことなら、どなたでも、気軽に
相談してください

電話 30-1669 (時間 13:00~17:00)

メール kodomo-sien@yatsushiro.jp



昨年ご相談のあった保護者の方が、1年間の子育てを振り返って、感じたことを
寄せてくださいました。許可をいただいて掲載します。



お母さんの体験記

～息子が「学校に行きたくない」と言った日から、もう1年が経ちました～

1年前のあの頃、朝から「気分が悪い、お腹が痛い・・・」と言うことが多くなり、だんだんご飯も食べたくないと言うので、何かおかしいと思いました。「悩んでいることがあるの?」と聞いてみると、はじめは何も言わなかった息子でしたが、そのうちに学校でのことを話してくれました。

話をきいて、私は、「いつまでもくよくよしてどうするの!頑張れ!」と言ってしまいました。今思えば、息子は、”お母さんは俺の辛い気持ちをわかってくれない”と思ったことと思います。

担任の先生をはじめ、いろいろな先生方やクラスみんなが息子のために話し合ってくださいました。その時私は、学校の先生やクラスみんな、所属するクラブにも迷惑をかけて、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。そして何とか早く、息子を学校へ行けるようにしなきゃと気持ちばかりが焦っていきました。

でも、息子はますます学校に行きたがらない・・・。

本当にどうしたらよいかわからなくなり、私の育て方が悪かったんじゃないか、母親失格だと思うようになりました。そんなとき、相談員さんや先生方とお話をするたびに、話をきいてもらえるありがたさを感じました。話をきいてもらえる場所があったことは、私や息子にとって、とても救われたことでした。同時に、最初に息子が辛いと言ったときに、なぜしっかりと話をきいてあげられなかったのだろうと、本当に反省しました。

それからは、息子と毎日話す時間を作り、じっくり聴くことを続けました。お互い泣きながら笑いながら話すこともありました。まだまだ幼いと思っていた息子でしたが、心の中では、いろいろなことを考え感じていたんだなあと、息子の成長を感じました。

息子のことをわかっていたつもりがわかっていなかった。

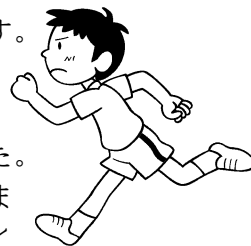
何をすることも自信が持てず、「どうせ俺は・・・」が口癖になっていた息子。

今息子は、周りの皆さんに助けていただき、元気に学校に通っています。

少しずつですが自分に自信がもてるようになってきたように思います。

たまに「明日は行きたくないなあ」と言うこともあります。でも俺は学校行くけど。今日は好きな勉強があるし～」と言うようになりました。

まだまだこれからいろいろなことがあると思いますし、悩みはつきませんが、息子が自分らしくいられるように、私はサポートしていきたいと思っています。



どの時代も、誰もが悩み、時にいろいろな苦勞をしながら子育ては続いていくのだと思います。
子供を育てる喜びにも苦勞にも、共感できる社会にしたいです。